

▶ 主要渋滞ポイント数

1. 鳥取県の現状

鳥取県内には、鳥取市と米子市を中心に、慢性的に渋滞している「**主要渋滞ポイント**」が**22箇所**存在しています。
そのうち溝川交差点については、平成15年度に緩和しています。

主要渋滞ポイントの位置



2. 昨年度の成果(達成度報告)

平成16年度には、主要渋滞ポイントである国道9号の海士交差点で右折レーンの設置が実施され、交通渋滞が緩和したので**目標を達成しました**。

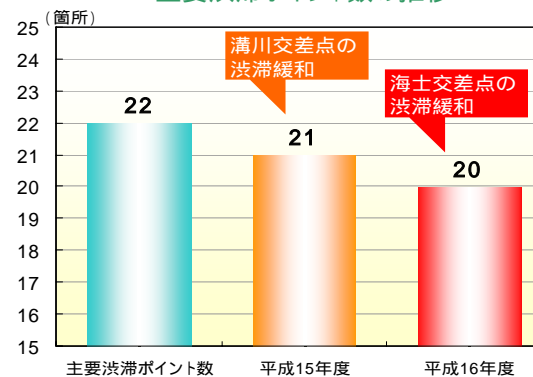
また国道9号白兔では、昨年度の事業により効果はみられたものの、一部に渋滞が残っているため、今後も引き続き対策を進めます。

H16年度完了事業箇所の一覧表

主体	事業箇所	事業内容	効果の内容	評価	備考
国土交通省	国道9号海士交差点改良	右折レーンの設置	渋滞長は大きく減少。	◎	P16参照
国土交通省	国道9号白兔	すり抜けレーンの設置等	溝川～白兔地区で渋滞が緩和傾向、継続して検討を実施。	○	P18参照

◎: 効果が大きな事例 ○: 効果がみられた事例 △: 十分な効果がみられない事例

主要渋滞ポイント数の推移



具体事業の成果

～海士交差点の改良～

・主要渋滞ポイントである海士交差点の改良により、交通渋滞が緩和しました。

事業の目的

・交差点形状が変形で、かつ右折レーンが無いため通勤時間帯に交通渋滞が発生。主要渋滞ポイントに指定。

事業の内容

・交差点の形状を正常化し、本線に右折レーンを設置することで、渋滞緩和を図る。

事業の効果

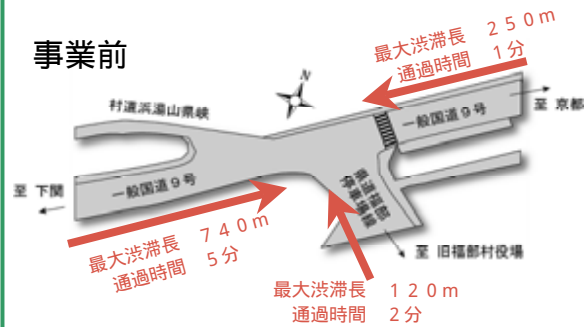
・事業により渋滞長が最大440m減少するなど、交通渋滞は大きく緩和。
・渋滞損失時間も約2割削減。

評価



<渋滞長の変化>

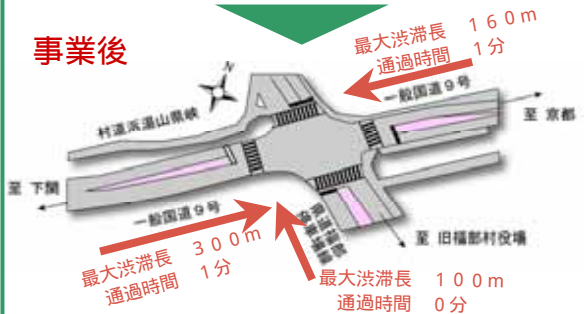
事業前



対策前



事業後



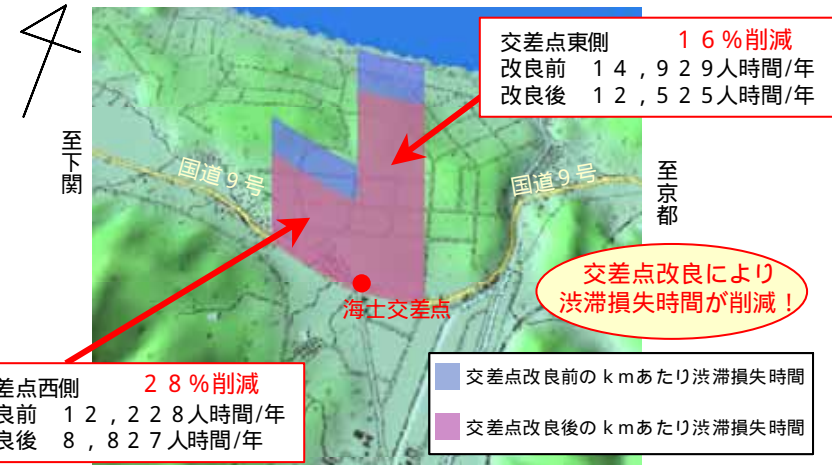
対策後



交差点改良により渋滞長が減少！

渋滞損失時間の変化

交差点改良前後のkmあたり渋滞損失時間



渋滞損失時間はプローブ調査結果を基に算出

供用前	27,217人時間/年
供用後	21,352人時間/年
削減時間	5,865人時間/年 (約22%削減)

利用者の声



この交差点は右折車の割合が多いが、右折レーンがないため、右折車が直進車を阻害しており、朝夕のラッシュ時には交差点を通過するのに5分程度はかかっていた。右折レーンが設置されたことにより、直進車がスムーズに流れるようになった。
(30代、男性)

以前は右折レーンがなかったため、右折車は対向車線にはみ出て右折待ちをすることが多く、対向車と接触しそうであった。特に国道9号は大型車が多いため、非常に危険な状況であった。右折レーンが設置されたことで、右折車は右折レーンで右折待ちをすることが出来、安全が確保されたと思う。
(40代、男性)



具体事業
の成果

～国道9号白兔の渋滞対策～

・費用をかけず短期間で改善可能な対策を国土交通省、鳥取県、鳥取市、鳥取県警が協力して実施しました。
・結果として主要渋滞ポイントである下坂本交差点、溝川交差点の渋滞は緩和傾向であり、今後も継続して対策の検討を行います。

評価



渋滞損失時間3Dマップ



白兔渋滞対策検討会



【メンバー】
・国土交通省
・鳥取県
・鳥取市
・鳥取県警察

検討会での検討内容

地区名	短期対策	中期対策（用地買収を伴うもの）
溝川地区	溝川～白兔養護学校前信号 整流化 白兔養護学校前交差点すり 抜けレーン設置	
日光地区	下坂本、日光交差点信号9号 側サイクル及び青時間の延長 日光交差点9号歩道拡幅による 町道青時間短縮 下坂本交差点、日光交差点信号 サイクル運動	下坂本交差点県道側に右折レーンの 設置

検討会で相談の結果、上記について対策を実施

対策：信号の整流化等

国道9号の流れをスムーズにさせるため、各交差点の信号制御を変更

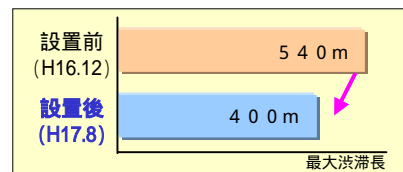
信号機の連動により、半数の交差点で渋滞が概ね解消しました。



信号の連動で解消しなかった白兔養護学校入口交差点に「すり抜けレーン」設置

すり抜けレーン設置により渋滞が緩和しました。

白兔養護学校入口交差点すり抜けレーン設置
(H17.3未完成)



信号の連動等で解消しない箇所について対策を検討

日光交差点 歩行者用信号の短縮等を実験し、効果を踏まえH17年度実施を検討します。

下坂本交差点 信号サイクル長の見直し、県道側の付加車線の設置等の対策を実施します。

日光交差点（実験中）



下坂本交差点

下坂本交差点



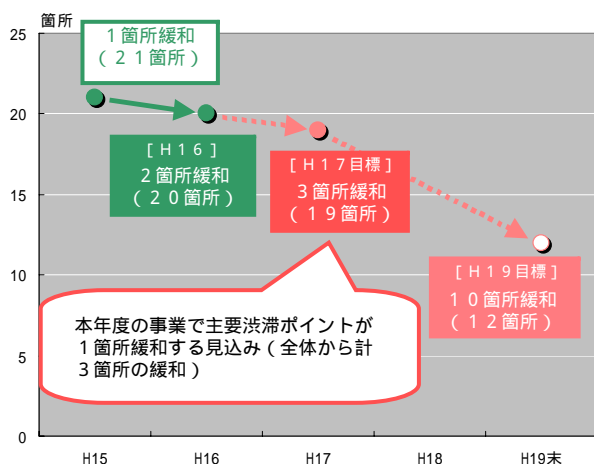
国道側の信号サイクルの延長により、県道側へ負担が生じるため付加車線を設置

3. 本年度のとりくみ(業績計画)

平成17年度では早期に効果を発現させるため、(主)鳥取鹿野倉吉線の千代大橋東詰交差点、国道9号の白兔、日光交差点の改良工事を実施し渋滞の緩和を図ります。

アウトカム指標の目標値は、整備効果を考慮して以下のように設定します。

主要渋滞ポイント数の目標



H17年度完了事業箇所の一覧表

主体	路線名及び事業名	供用予定年月	期待される効果
国土交通省	千代大橋西詰交差点改良	H18.3	交差点付近の渋滞緩和(大きな効果が期待できます)
	国道9号日光交差点改良	H18.3	下阪本交差点の渋滞緩和
	国道9号白兔交差点改良	H18.3	白兔周辺の渋滞緩和

具体事業の期待される成果

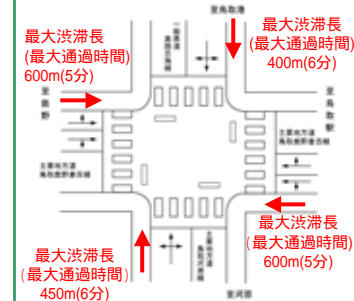
～千代大橋西詰交差点改良～

・(主)鳥取鹿野倉吉線は上り・下り共に交通量が多く、また右折レーンがないため右折車が直進車を阻害しており、結果として交通渋滞が発生しています。
 ・そのため右折レーンを設置し、交通渋滞の解消を目指します。

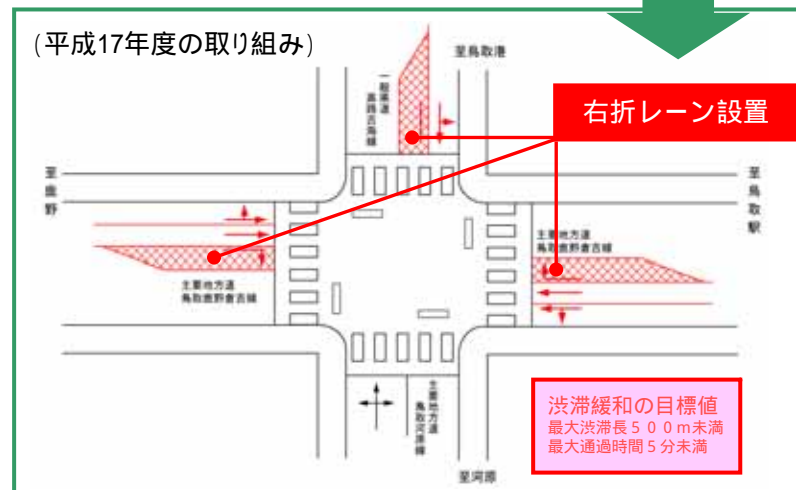
(位置図)



(渋滞状況)



(平成17年度の取り組み)



4. 平成19年度目標達成に向けた展望

主要渋滞ポイント数の平成19年度目標値は12箇所であり、平成17年度からさらに7箇所の渋滞緩和を目指します。



整 備 例

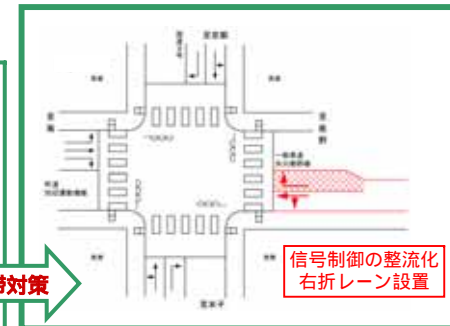
国道9号下坂本交差点 ~ 右折レーン設置 ~

現在の状況



9号優先の現示に変更の場合に
県道方向の交通を裁ききれない

渋滞対策



信号制御の整流化
右折レーン設置

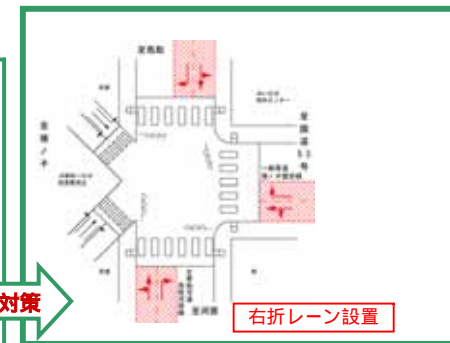
猪ノ子国安線上味野交差点 ~ 交差点改良 ~

現在の状況



右折車が直進車を
阻害し渋滞が発生

渋滞対策



右折レーン設置

交流と連携

生き活きと

安全で安心